

トマトキバガに登録のある農薬一覧(令和7年6月26日時点)

農薬の名称	登録の有無		IRAC コード ※2	農薬の種類	使用時期	希釈倍数 /使用量	使用 方法	使用 回数
	トマト	ミニトマト						
ディアナ SC	○	○	5	スピネトラム水和剤	収穫前日まで	2500～ 5000 倍	散布	2 回 以内
ラディアント SC	○	○		スピネトラム水和剤	収穫前日まで	2500～ 5000 倍	散布	2 回 以内
ダブルシューターSE	○	○		脂肪酸グリセリド・ スピノサト水和剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	2 回 以内
アフーム乳剤	○	○	6	エマメクチン安息香 酸塩乳剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	5 回 以内
アグリメック	○	×		アバメクチン乳剤	収穫前日まで	500～ 1000 倍	散布	3 回 以内
アニキ乳剤	○	○		レピメクチン乳剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	3 回 以内
エスマルク DF	○	○	11A	BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
ゼンタリー顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
チューンアップ顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	2000 倍	散布	—
サブリーナフロアブル	○※1	○※1		BT 水和剤	発生初期収穫 前日まで	1000 倍	散布	—
コテツフロアブル	○	○	13	クロルフェナピル 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	3 回 以内
トルネードエースDF	○	×	22A	インドキサカルブ 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2 回 以内
ファイントリム DF	○	×		インドキサカルブ 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2 回 以内
アクセルフロアブル	○	○	22B	メタフミゾン 水和剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	3 回 以内
プレバゾンフロアブル5	○	○	28	クロラントリニプロール 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	3 回 以内
					育苗期後半～ 定植当日	100 倍	灌注	1 回
ベネビア OD	○	○		シアントラニプロール 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	3 回 以内
ベリマーク SC	○	○		シアントラニプロール 水和剤	育苗期後半～ 定植当日	400 株あ たり 25ml	灌注	1 回
プリロッソ粒剤オメガ	○	○		シアントラニプロール 粒剤	育苗期後半～ 定植時	2g/株	株元 散布	1 回
フェニックス顆粒水和剤	○	○		フルベンジアミド 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2 回 以内
ヨーバルフロアブル	○	○		テトラニプロール 水和剤	収穫前日まで	2500 倍	散布	3 回 以内
グレーシア乳剤	○	○	30	フルキサメタミド乳剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2 回 以内
プレオフロアブル	○	○	UN	ピリタリル水和剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	2 回 以内

※1 「野菜類(はくさいを除く)」で登録があるため使用可能。

※2 IRAC コードとは、殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、
本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。